

2026年度

日仏社会学会大会プログラム

10月3日（土）

会場

広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター 3F M304教室

(〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89)

<参加要領・連絡事項>

1. 大会参加費 大会運営のため参加費 1,000 円を申し受けます。
非会員の方の参加も歓迎いたします。
2. 申込み 大会参加ご予約の方と懇親会ご出席の方は、**9月26日（土）までに**
下記 QR コードから申込みをお願いします。
3. 懇親会 会場：広島大学東千田キャンパス 慎思棟 1F 広島大学生協 プナナ
ダイニング)
会費：5,000 円（当日、大会受付にてお納めください。）
4. 連絡先 日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com
5. 会場案内 プログラム末尾に詳細を記載しています。大会当日、学食
は営業しておりませんので、昼食をご持参いただくか、近
隣のコンビニエンスストアや飲食店をご利用ください。
6. その他 会員の方に、2026 年度会費を大会会場で納めていただく
ことができます。

郵便振替 00960 6 278804 口座名 日仏社会学会



<タイムテーブル>

9：30 受付開始

10：00 開会の辞 荻野昌弘（日仏社会学会会長・関西学院大学）

10：05～12：40 自由報告 司会 池田祥英（早稲田大学）

1. フランスにおけるポール・フォーコネ再発見—法社会学における刑罰理論の観点
西野真央（大阪大学大学院）

2. デュルケムにおける愛他性概念の位置づけ
堀内智吉（立命館大学大学院）

3. アルヴァックスにおけるトラウマ論的位相—「失語症」の観点から
武内保（聖カタリナ大学）

休憩 5分

4. マルク・オジェの時間論—『忘却の諸形式』を中心に
金瑛（大谷大学）

5. 日仏における共生社会政策の比較分析
永田隆二（田園調布学園大学）

6. フランス市民の日本関連情報収集調査の分析—フランス人は日本の何に興味を持っているのか

本間圭一（東洋大学）

12：40～13：25 昼休み（会員控え室 M303教室／理事会 MR3-3教室）

13:25～13:55 総会

14:00～17:00 シンポジウム「日本の社会学から世界社会学を構想する」

司会 北垣徹（西南学院大学）・白鳥義彦（神戸大学）

趣旨説明

荻野昌弘（関西学院大学）

14:05～15:35

第1報告 観察と実践—1870年代～1945年日本の実地調査の豊穰性

小川伸彦（奈良女子大学）

第2報告 国家を迂回する日本的知の系譜—戦後日本社会学の形成と独自性

松野靖子（関西学院大学）

第3報告 戦後日本における社会変動—高度経済成長期と「疎外」の社会学

徳宮俊貴（大阪産業大学）

第4報告 日本の産業・労働社会学における戦後から現代に至る研究経緯

藤本昌代（同志社大学）

第5報告 日本における死の管理の変容と貧困一家から国家、そして市場とデータ社会へ

藤井亮佑（関西学院大学）

第6報告 一国社会学を超える社会学はいかに構想できるか

荻野昌弘（関西学院大学）

15:35～15:45 休憩

15:45～16:00 コメント

三上剛史（追手門学院）

16:00～17:00 総括討論・質疑応答

17:00 閉会の辞

江頭大蔵（広島大学）

17:30～19:30 懇親会

（会場：広島大学東千田キャンパス 慎思棟1F 広島大学生協 プナナダイニング）

<会場案内>

主要交通機関からのアクセス

(バス)

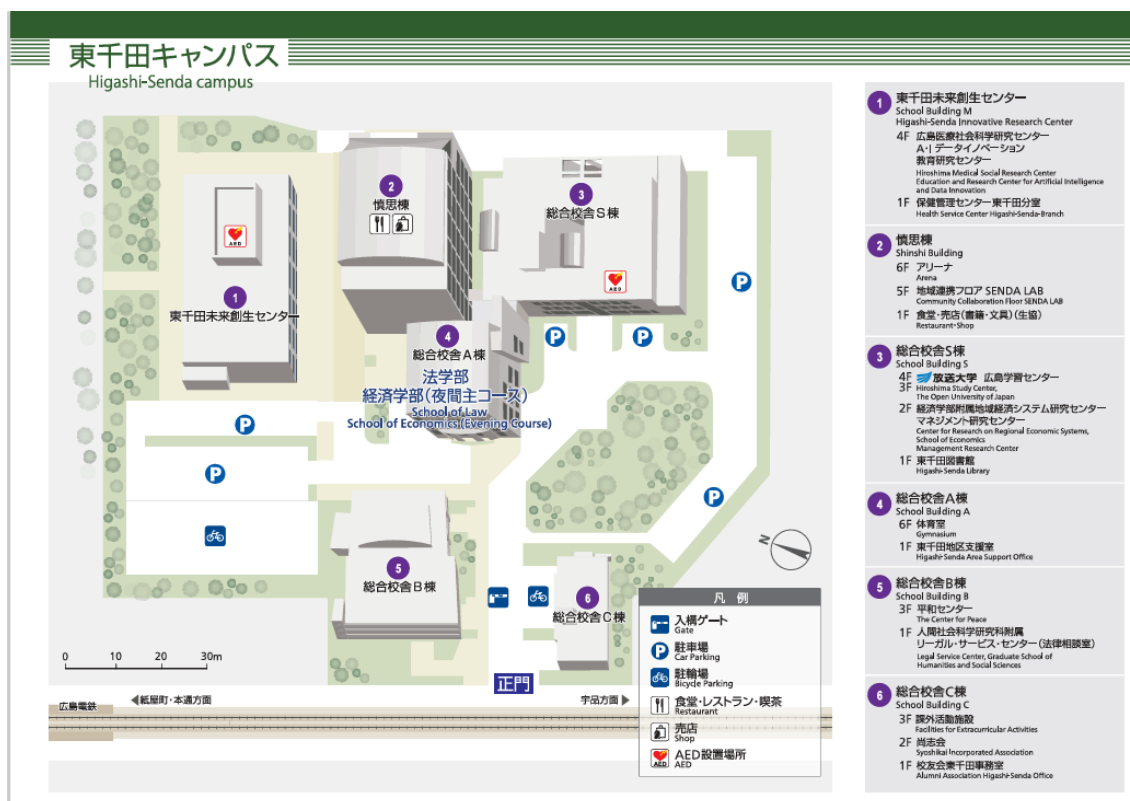
・ J R広島駅新幹線口より 1 番乗り場から「まちのわループ左回り」で約 16 分「日赤病院前」下車

・ J R広島駅南口より 南口 6 番乗り場から「50 号アルパーク方面行き」で約 12 分「日赤病院前」下車

(市内電車)

・ J R広島駅 2 F 市内電車乗り場より 「広電 1 番広島港行き」で約 30 分「日赤病院前」下車

・ 紙屋町バスセンターより 「紙屋町西」「紙屋町東」「本通り」電停から 1・3・7 号線「広島港／広電本社前行き」で約 10 分「日赤病院前」下車>



会場に隣接してコンビニエンスストアがあります。